

施策名	大 事 項	地球温暖化対策に対する取組み	交通政策部
	中 事 項	環境負荷の小さい交通体系の構築	
	小 事 項	公共交通機関の利用促進 [交通バリアフリー施策の推進]	

施策の概要

b) わが国の急速な高齢化や障害者の自立と社会参加の要請に適切に対応し、高齢者、障害者等が公共交通機関を安全かつ円滑に利用できるように、手助けしやすい環境づくりを行うことが求められている。

このため、小学生等を対象にバリアフリー教室を開催し、高齢者や障害者等の疑似体験及び介助体験等を行うことで、バリアフリーについての理解を深めてもらうとともに、ボランティアに関する意識を醸成し、困っている人を見かけたら「お手伝いしましょうか」と声かけ、お手伝いできる「心のバリアフリー」社会の実現を目指す。

28年度の計画

バリアフリー教室の開催

日 程	会場名	開催場所	参加者等
7月	大分市	大分市内小学校	小学4年生
7月	福岡市	九州運輸局	九州運輸局新採職員
9月	都城市	都城市内小学校	小学4年生
9月	久留米市	九州技術事務所	小学4年生
10月	佐賀市	佐賀市内小学校	小学4年生
10月	福岡市	福岡市内小学校	小学4年生
11月	福岡市	博多港ターミナル	旅客船従業員等

27年度の実績と評価

バリアフリー教室の開催

平成27年度は、バリアフリー教室を8回実施した。参加者総数は316名。

対象者は小学生が主体であるが、九州運輸局職員、旅客船従業員等に対するバリアフリー教室も開催した。また、初めての試みとして視覚障害者等を対象に熊本県立盲学校においてバリアフリー教室を開催した。

開催年月日	開催場所	参加者等
平成27年 5月28日	熊本県立盲学校	盲学校生 21名
平成27年 7月25日	熊本港	田迎西小学校生(4~6年生)18名
平成27年 9月30日	九州運輸局	九州運輸局 職員 8名
平成27年10月13日	九州技術事務所	小学4年生 48名
平成27年10月15日	佐賀市立西川副小学校	小学3年生 40名
平成27年11月 7日	鹿児島新港	旅客船従業員 24名
平成27年11月25日	佐世保港	旅客船従業員 40名
平成27年12月 2日	福岡市立千早小学校	小学4年生 117名



車いす体験



高齢者疑似体験



視覚障害者疑似体験

九州では、初めてとなる視覚障害者を対象としたバリアフリー教室を開催し、受講者からは、バスの大きさを感じることができたり、乗り方を学ぶことができた
と、好評であった。